

**DAIFUKU**

Automation that Inspires

2025年12月期 第3四半期  
(2025年1月1日 ~ 2025年9月30日)

# 決算説明資料

2025年11月11日

株式会社ダイフク [6383]

# 決算期変更について

2024年12月期より、当社の決算期（事業年度の末日）は3月31日から12月31日に変更となりました。対象期間を同一にした場合の参考値（非監査）を前年同期として一部記載しています。

	2024年12月期					2025年12月期			
	第1四半期	上期	前年同期参考値	下期	通期	第1四半期	上期	第3四半期累計	通期
国内	4月1日～6月30日	4月1日～9月30日	4月～12月（9カ月）	10月1日～12月31日（3カ月）	2024年4月1日～12月31日（9カ月）	1月1日～3月31日	1月1日～6月30日	1月1日～9月30日	2025年1月1日～12月31日
海外	1月1日～3月31日	1月1日～6月30日	1月～9月（9カ月）	7月1日～12月31日（6カ月）	2024年1月1日～12月31日（12カ月）				
		1～3月	4～6月	7～9月	10～12月				
2024年12月期			国内（9カ月）						
			国内 前年同期参考値						
			海外（12カ月）						
			海外 前年同期参考値						
					2024年12月期の調整後*（国内 2024年1～3月を加算したもの）				
2025年12月期	国内・海外 12カ月								
	国内・海外 第3四半期累計								

\* 比較しやすくするため、対象期間を同一にした場合の調整値（非監査）を算出し、記載。

## 2025年12月期 第3四半期累計 実績

### 受注高

**4,990**億円

前年同期参考値比

+126億円

+2.6%

調整後比\*

+368億円

+8.0%

### 売上高

**4,860**億円

前年同期参考値比

+194億円

+4.2%

### 営業利益

**752**億円

前年同期参考値比

+156億円

+26.3%

### 営業利益率

**15.5%**

前年同期参考値比

+2.7pt

自動車生産ライン向けシステムは低調だったものの、一般製造業・流通業、半導体生産ライン、空港向けは順調に推移。

一般製造業・流通業、半導体生産ライン、自動車生産ライン向けが、豊富な前期末受注残高をベースに順調に推移。

生産効率化・プロジェクト管理の強化によるコスト削減、収益性を重視した受注の徹底などにより、利益率が高い水準で推移。

\* 前年同期参考値受注高には2024/3期末受注残高に対する為替レート変動の影響額+242億円が含まれる。その影響額を除いた前年同期参考値調整後受注高は4,621億円。

# 01

## 連結決算

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、過去最高だった2024/12期をすでに上回る実績。

(億円)	2024/12期*1	前年同期参考値*2	2025/12期3Qs	前年同期参考値比	
				増減額	増減率
受注高	5,947*4	4,864*5	<b>4,990*3</b>	+126	+2.6%
売上高	5,632	4,666	<b>4,860</b>	+194	+4.2%
営業利益	715	595	<b>752</b>	+156	+26.3%
営業利益率	12.7%	12.8%	<b>15.5%</b>	+2.7pt	—
経常利益	744	618	<b>775</b>	+156	+25.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	570	479	<b>584</b>	+104	+21.9%
当期純利益率	10.1%	10.3%	<b>12.0%</b>	+1.7pt	—
一株当たり当期純利益 (円)	154.21	129.58	<b>159.01</b>	+29.43	+22.7%

為替レート (円)	2024/12期	2025/12期Q3
米ドル	152.27	147.91
中国元	21.13	20.49
韓国ウォン	0.1113	0.1047
台湾ドル	4.74	4.75

### 為替影響

**受注高 約▲97億円**

**売上高 約▲77億円**

**営業利益 約▲11億円**

\*1 国内：2024年4～12月、海外：2024年1～12月の実績。詳細は1ページの[決算期変更について](#)を参照。

\*2 国内：2024年4～12月、海外：2024年1～9月の参考値。

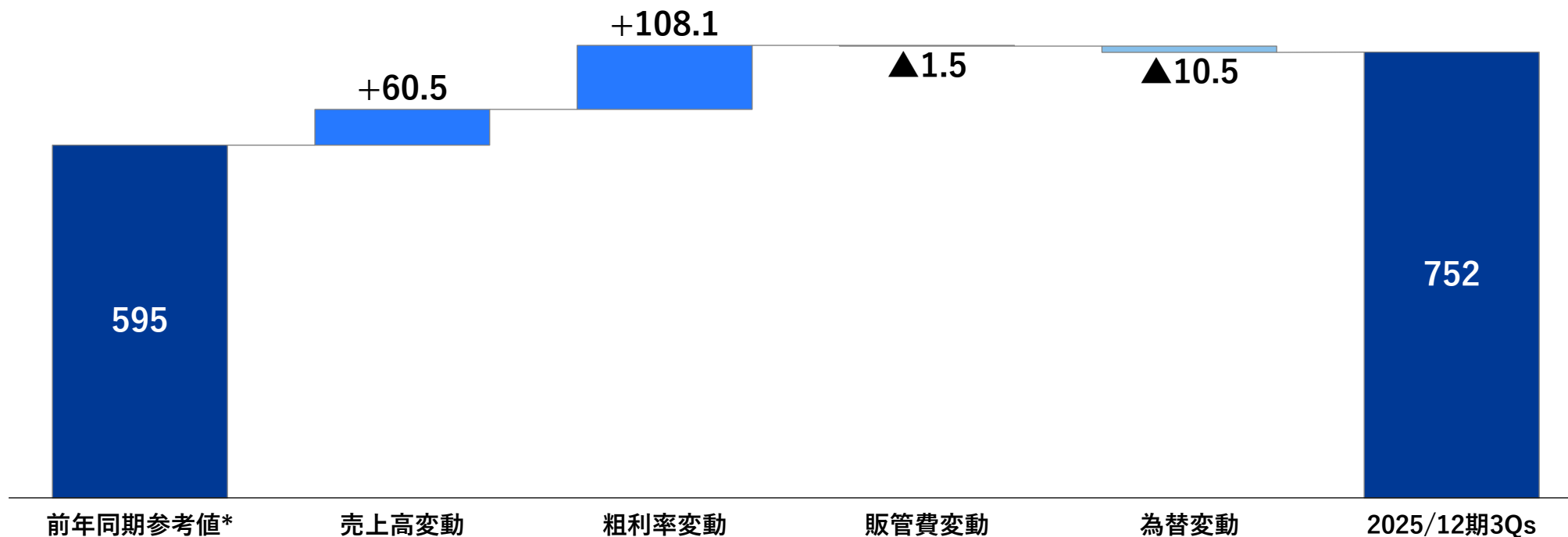
\*3 2025/12期より前期末受注残高に対する為替レート変動の影響額を当期受注高に含まず。

\*4 2024/12期受注高には2024/3期末受注残高に対する為替レート変動の影響額+242億円が含まれる。その影響額を除いた2024/12期受注高は5,704億円。

\*5 前年同期参考値受注高には2024/3期末受注残高に対する為替レート変動の影響額+242億円が含まれる。その影響額を除いた前年同期参考値受注高は4,621億円。

生産効率化・プロジェクト管理の強化によるコスト削減、収益性を重視した受注の徹底などが寄与。

(億円)



\* 国内：2024年4～12月、海外：2024年1～9月の参考値。詳細は1ページの[決算期変更について](#)を参照。

## ダイフク

受注は、自動車生産ライン向けの一部案件で期ずれやお客さまの投資意思決定に遅れが発生。

## Daifuku North America

受注は、一般製造業・流通業、空港向けは順調に推移。

## Clean Factomation

受注は、生成AI向け先端半導体投資の拡大により、売上・セグメント利益は、前期末の受注残高をベースに、好調に推移。

## Daifuku (Suzhou) Cleanroom Automation

受注は、中国国内における半導体国産化の強化・推進に伴う投資が継続したことにより、概ね順調に推移。

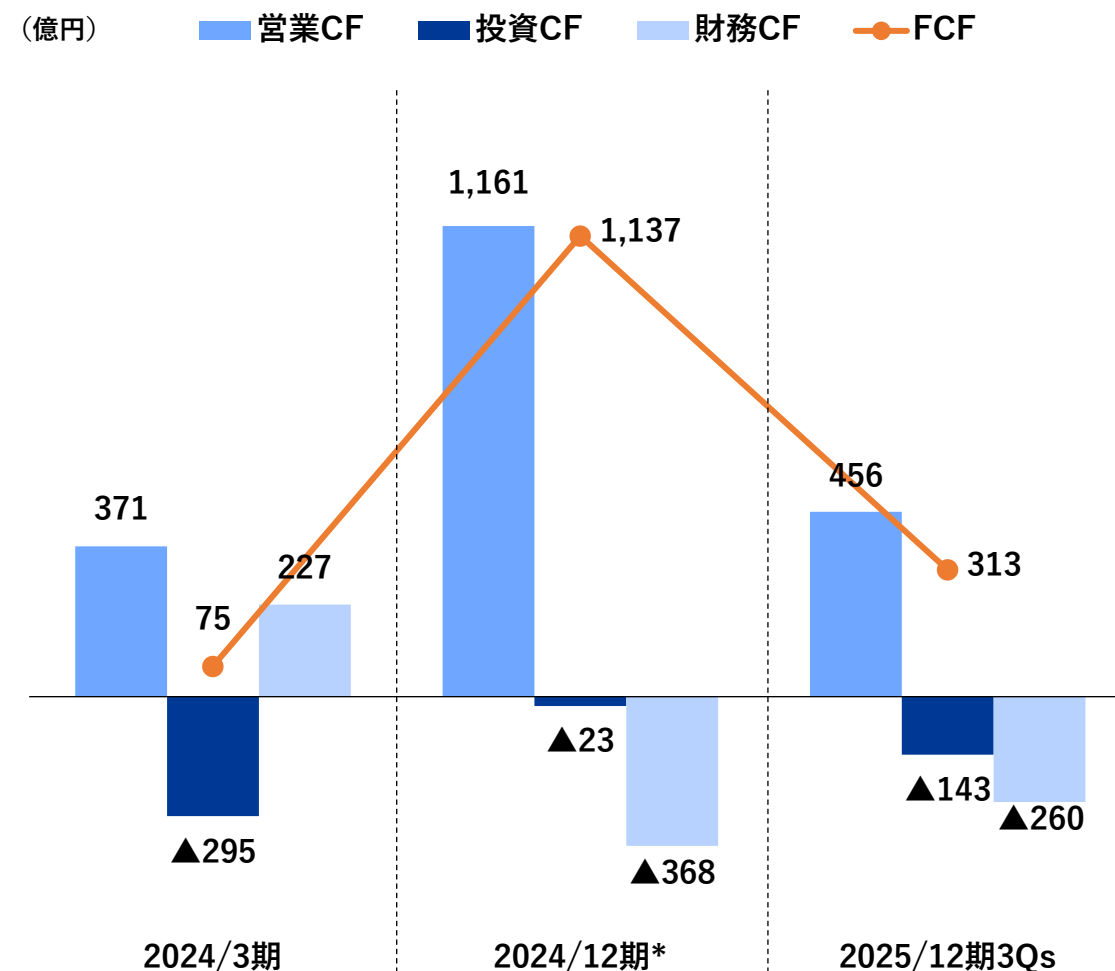
(億円)	受注高*2 (外部顧客からの受注高)			売上高 (外部顧客への売上高)			セグメント利益 (親会社株主に帰属する四半期純利益)		
	前年同期参考値*1	2025/12期3Qs	増減額	前年同期参考値*1	2025/12期3Qs	増減額	前年同期参考値*1	2025/12期3Qs	増減額
ダイフク	1,777	<b>1,631</b>	▲146	1,880	<b>1,934</b>	+53	292	<b>445</b>	+153
コンテック	146	<b>142</b>	▲4	140	<b>149</b>	+9	0	<b>9</b>	+8
Daifuku North America	1,279	<b>1,591</b>	+312	1,271	<b>1,205</b>	▲65	106	<b>121</b>	+14
Clean Factomation	191	<b>406</b>	+215	193	<b>284</b>	+91	13	<b>26</b>	+13
Daifuku (Suzhou) Cleanroom Automation	243	<b>224</b>	▲18	397	<b>295</b>	▲101	97	<b>80</b>	▲16
その他	983	<b>993</b>	+10	738	<b>992</b>	+253	32	<b>92</b>	+60
連結調整等	242	—	▲242	42	<b>▲1</b>	▲44	▲63	<b>▲192</b>	▲128
合計 (調整後)	4,864	<b>4,990</b>	+126	4,666	<b>4,860</b>	+194	479	<b>584</b>	+104

\*1 国内：2024年4～12月、海外：2024年1～9月の参考値。詳細は1ページの[決算期変更について](#)を参照。

\*2 2025/12期より前期末受注残高に対する為替レート変動の影響額を当期受注高に含まず。前年同期参考値受注高には2024/3期末受注残高に対する為替レート変動の影響額+242億円が含まれる。その影響額を除いた前年同期参考値受注高は4,621億円。

# 連結貸借対照表、連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)	2024年12月末	2025年9月末	増減額
流動資産	5,315	<b>5,430</b>	+114
現金及び預金	2,215	<b>2,277</b>	+62
売上債権	2,248	<b>2,399</b>	+150
棚卸資産	629	<b>587</b>	▲42
その他	222	<b>166</b>	▲55
固定資産	1,571	<b>1,639</b>	+68
有形固定資産	857	<b>976</b>	+118
無形固定資産	123	<b>117</b>	▲5
投資その他の資産	589	<b>545</b>	▲44
資産合計	6,887	<b>7,070</b>	+183
流動負債	2,142	<b>2,092</b>	▲49
仕入債務	817	<b>819</b>	+1
契約負債	850	<b>704</b>	▲145
その他	474	<b>568</b>	+93
固定負債	760	<b>762</b>	+1
負債合計	2,902	<b>2,854</b>	▲48
株主資本	3,487	<b>3,829</b>	+341
純資産合計	3,984	<b>4,215</b>	+231
負債・純資産合計	6,887	<b>7,070</b>	+183



\* 国内：2024年4～12月、海外：2024年1～12月の実績。詳細は1ページの[決算期変更について](#)を参照。

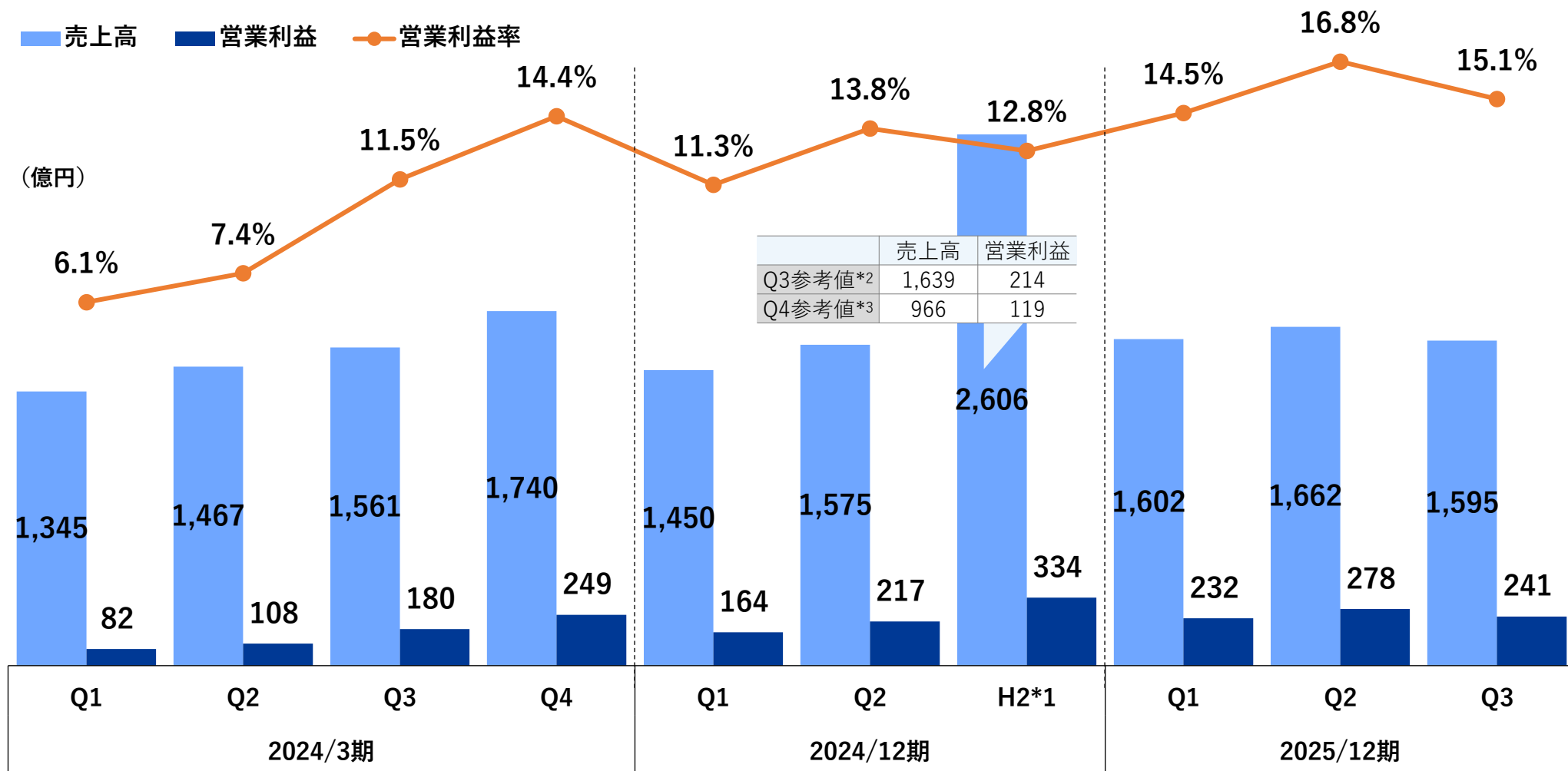


# 仕向地別受注高・売上高

(億円)	2025/12期3Qs			
	受注高	構成比	売上高	構成比
日本	1,323	26.6%	1,378	28.3%
海外	3,666	73.4%	3,483	71.7%
北米	1,643	32.9%	1,274	26.2%
アジア	1,850	37.0%	1,949	40.1%
中国	544	10.9%	634	13.0%
韓国	475	9.5%	358	7.4%
台湾	653	13.1%	679	14.0%
その他	177	3.5%	277	5.7%
欧州	90	1.8%	106	2.2%
中南米	17	0.4%	23	0.5%
その他	64	1.3%	128	2.7%
小計	—	—	4,861	100.0%
連結調整等	—	—	▲1	—
合計	4,990	100.0%	4,860	—

(億円)	2025/12期3Qs			
	受注高	構成比	売上高	構成比
自動車及び自動車部品	488	9.8%	628	12.9%
エレクトロニクス	1,706	34.2%	1,863	38.3%
商業及び小売業	959	19.2%	996	20.5%
運輸・倉庫	154	3.1%	215	4.4%
機械	69	1.4%	57	1.2%
化学・薬品	188	3.8%	167	3.5%
食品	194	3.9%	185	3.8%
鉄鋼・非鉄金属	30	0.6%	47	1.0%
精密機器・印刷・事務機	42	0.9%	34	0.7%
空港	900	18.0%	536	11.0%
その他	257	5.1%	129	2.7%
小計	—	—	4,861	100.0%
連結調整等	—	—	▲1	—
合計	4,990	100.0%	4,860	—

# 四半期売上高・営業利益の推移

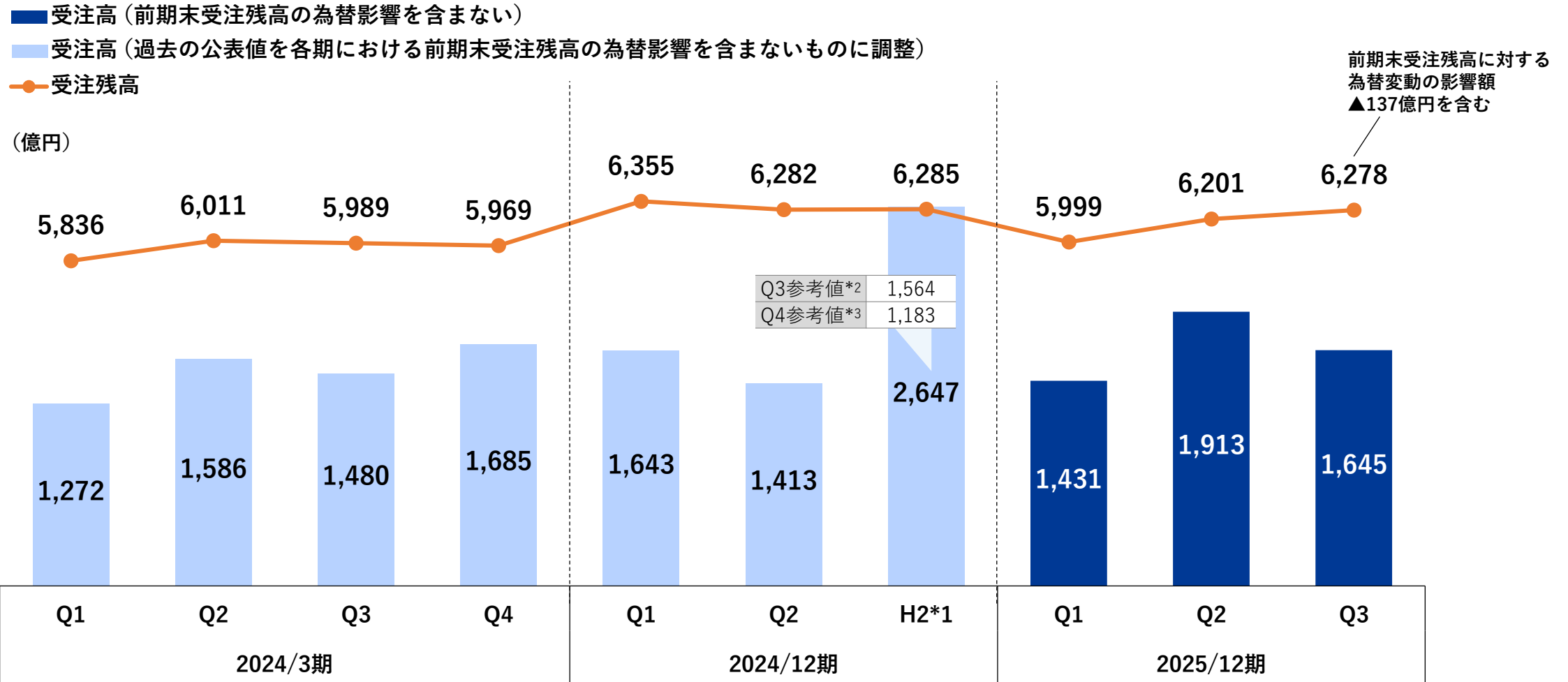


\*1 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～12月（6カ月）の実績。詳細は1ページの[決算期変更について](#)を参照。

\*2 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～9月（3カ月）の参考値。

\*3 海外：2024年10～12月（3カ月）の参考値。

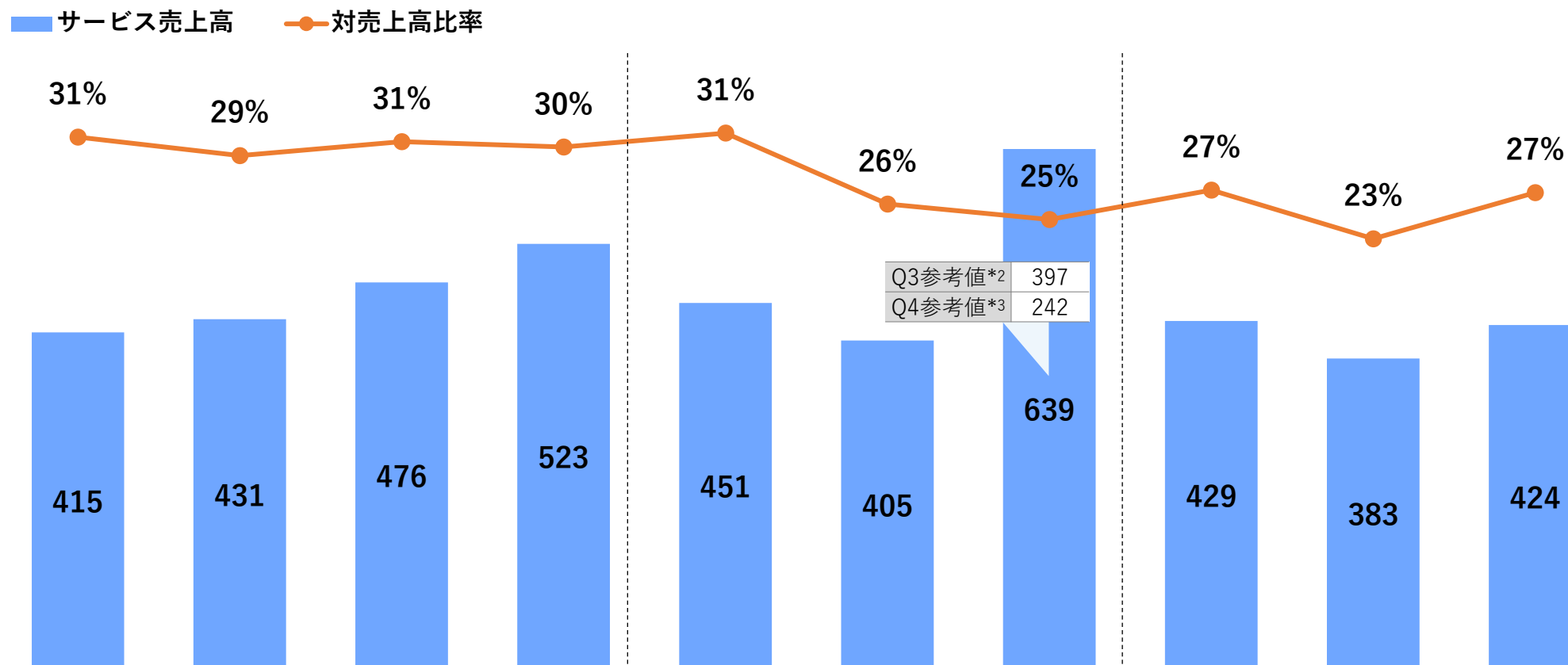
# 四半期受注高・受注残高の推移



\*1 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～12月（6カ月）の実績。詳細は1ページの[決算期変更について](#)を参照。

\*2 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～9月（3カ月）の参考値。

\*3 海外：2024年10～12月（3カ月）の参考値。



(億円)	2024/3期				2024/12期			2025/12期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	H2*1	Q1	Q2	Q3
通期合計	1,846				1,497			1,722 (予想)		

\*1 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～12月（6カ月）の実績。詳細は1ページの[決算期変更について](#)を参照。

\*2 国内：2024年10～12月（3カ月）、海外：2024年7～9月（3カ月）の参考値。

\*3 海外：2024年10～12月（3カ月）の参考値。

# 02

## 業績予想

## 2025年12月期 予想

## 受注高

通期

6,800億円

8月公表より

200億円下方修正

2024/12期の調整後\*比

+268億円

+4.1%

## 売上高

通期

6,500億円

8月公表より

修正なし

2024/12期の調整後\*比

+60億円

+0.9%

## 営業利益

通期

975億円

営業利益率 15.0%

8月公表より

105億円上方修正

2024/12期の調整後\*比

+164億円

+20.3%

製造業・流通業における労働力不足や人件費上昇を背景とした自動化投資、生成AI向け先端半導体と後工程投資の拡大や、空港における自動化投資も高水準が継続することを見込む。一方、自動車産業を中心にお客様の投資意思決定に遅れが生じていることから、通期予想を下方修正。

豊富な前期末受注残高をベースに、計画通りに推移することを見込む。

生産効率化・プロジェクト管理の強化によるコスト削減、収益性を重視した受注の徹底などが寄与することから、通期予想を上方修正。

注：業績予想は、米国の関税政策の影響を反映した数値。

\* 2024年12月期に国内の2024年1～3月を加算したもの。詳細は1ページの[決算期変更について](#)を参照。

(億円)	2024/12期		2025/12期						
	通期	2024/12期の調整後* [a]	通期					2024/12期の調整後*対比 (b-a)	
			2/14公表	5/13公表	8/7公表	11/11公表 [b]	前回比	増減額	増減率
受注高	5,947	6,531	7,000	7,000	7,000	<b>6,800</b>	▲200	+268	+4.1%
売上高	5,632	6,439	6,500	6,500	6,500	<b>6,500</b>	—	+60	+0.9%
営業利益	715	810	815	815	870	<b>975</b>	+105	+164	+20.3%
営業利益率	12.7%	12.6%	12.5%	12.5%	13.4%	<b>15.0%</b>	+1.6pt	+2.4pt	—
経常利益	744	842	850	843	900	<b>1,020</b>	+120	+177	+21.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	570	644	650	650	680	<b>760</b>	+80	+115	+18.0%
当期純利益率	10.1%	10.0%	10.0%	10.0%	10.5%	<b>11.7%</b>	+1.2pt	+1.7pt	—
一株当たり当期純利益 (円)	154.21	175.15	176.78	176.78	184.94	<b>206.69</b>	+21.75	+31.54	+18.0%

2025年12月期の為替レートは対米ドル148円（2024年12月期実績レート152.27円）を想定。

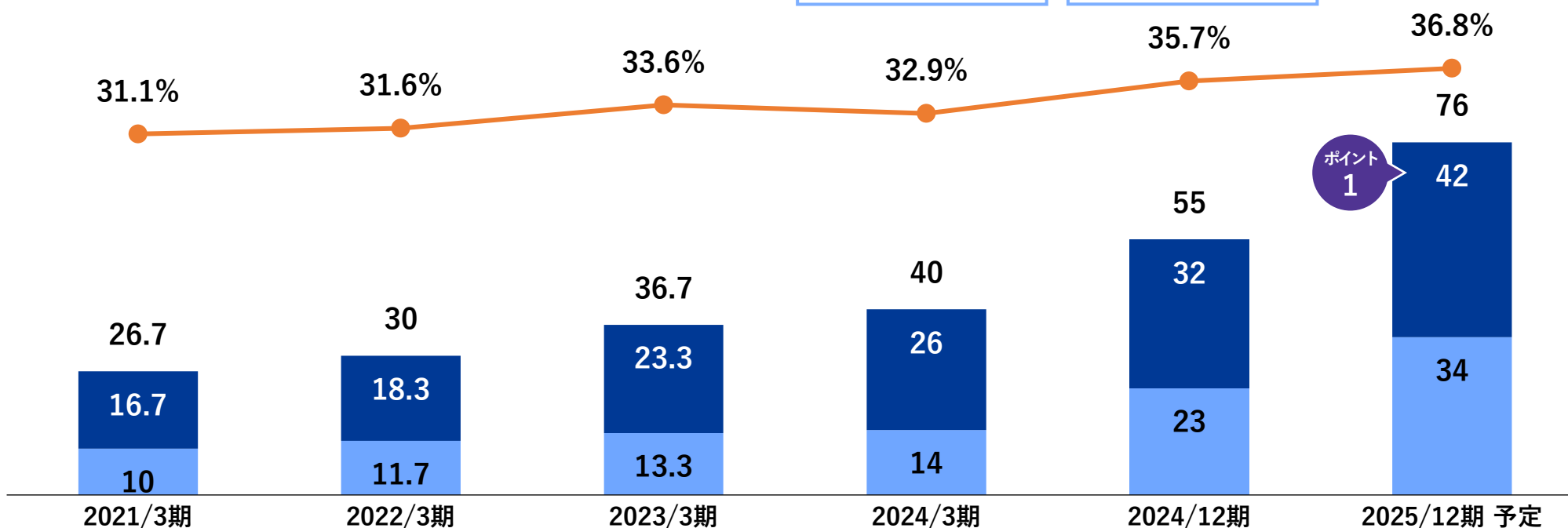
\* 2024年12月期に国内の2024年1～3月を加算したもの。詳細は1ページの[決算期変更について](#)を参照。



**ポイント 1** 2025/12期の期末配当は、期初予定の32円から10円増配の42円となり、年間配当は76円へ。

■ 中間配当 ■ 期末配当 ● 連結配当性向

(円)



[注] 2023/3期以前の配当額は、株式分割（2023年4月1日、1株→3株）からさかのぼって便宜的に再計算。

# 03

## トピックス

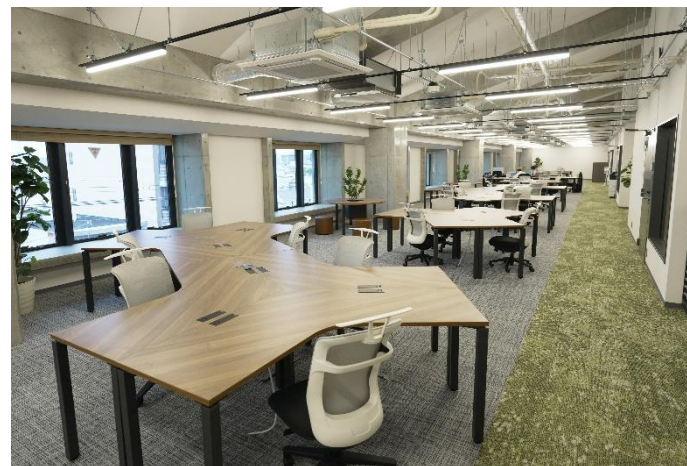
# 研究開発拠点「京都Lab」が始動。フィジカルAIなどの開発を加速

当社は、研究開発体制の強化を目的として、京都市左京区に研究開発拠点「京都Lab（ラボ）」を開設し、11月6日に業務を開始しました。ITエンジニアやAIなどの最先端技術の専門人材を新たに採用し、各事業部の設計・開発部門の人材とあわせて、2027年度には90名の人員とする計画です。

これまで当社では、研究開発は主にマザー工場の滋賀事業所（蒲生郡日野町）で事業部ごとに取り組んできました。DX・AIなどの技術系人材のさらなる確保や、市場環境の変化にあわせた研究開発のスピードアップの重要性が高まってきたことから、この京都Labに加え、東京Labを開設（2026年予定）します。



外観（4階に入居）



執務エリア

当社の米国子会社のDaifuku Intralogistics America Corporationが米国インディアナ州ホバート市で建設を進めていた新工場棟がこのたび完成し、10月から稼働を開始しました。生産能力は従来の約2倍となり、流通業や製造業における旺盛な自動化需要にスピーディーに対応することで、北米における事業規模をさらに拡大していきます。

## 新工場棟の概要

敷地面積	約17万8,000m <sup>2</sup>
建築面積	約2万5,000m <sup>2</sup> (既存工場棟：約3万m <sup>2</sup> )
生産品目	コンベヤやソーターなどのマテリアルハンドリングシステム
投資額	3,500万米ドル (約50億円*)

\* 換算レート 1米ドル=148円



既存工場棟に隣接する米国の新工場棟 (赤枠)

# DAIFUKU

Automation that Inspires

## 将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。